

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 加茂高等学校 学校運営協議会（第3回）
  
- 2 開催日時 令和4年2月8日（火）～3月1日（火）
  
- 3 開催場所 書面開催
  
- 4 参加者

会 長	尾関 里佳	全日制PTA会長
副会長	松井 彰良	同窓会役員 山手商店会役員
委 員	角田 雅彦	元学校評議員(R1. R2)
	梶田 女理子	元学校評議員(R2) 県教育文化財団
	佐藤 久子	定時制教育振興会長
	松尾 和樹	可児市議会議員 NPO 法人縁塾顧問
	武市 由紀子	発達障がい専任教員 元特別支援学校校長
学 校 側	井藤 勝夫	校長
	鵜飼 陽一郎	副校長
	今井 勤	事務部長
	笠原 常豊	教頭
	山田 哲志	教頭
	吉川 敏幸	教務主任（全日制）
	尾関 清光	教務主任（定時制）
	酒井 宏昌	生徒指導主事（全日制）
	武藤 秀彦	生徒指導主事（定時制）
	古田 寿朗	進路指導主事（全日制）
	渡辺 純也	進路指導主事（定時制）
  
- 5 会議の概要（協議事項）
  - 【資料】 全日制：スクール・ポリシー  
令和3年度学校経営計画(高等学校版マニフェスト)  
令和3年度自己評価・学校関係者評価（県の書式）  
部活動の主な活躍

定時制 : スクール・ポリシー

令和3年度学校経営計画(高等学校版マニフェスト)

令和3年度自己評価・学校関係者評価 (県の書式)

部活動の主な活躍

#### 【全日制】

##### (1) スクール・ポリシーについて

意見1 : 「人と人とのつながりを大切に、」を「人とつながる力を養い、」とするとよい。

意見2 : 「きめこまかな支援」を「個に応じた適切な支援」とするとよい。

意見3 : 「将来の目標を定め、自分の可能性に挑戦しようという意欲のある生徒」を「将来の目標を実現しようという意欲のある生徒」とするとよい。

意見4 : 策定されたスクール・ポリシーで、今後、よりよい方向で学校運営を行っていきけると感じた。

⇒ 意見1、意見2、意見3を踏まえスクール・ポリシーを修正し、学校運営協議会委員の了承を得た。

##### (2) 学校生活について

意見1 : 「手帳」の活用について、何のために、「いつ、どこで、誰が、何をする」といった現場レベルでの職員間の統一した方針があるとよい。

意見2 : ホームページを充実させるために、各学年など、複数の担当で更新するとよい。  
また、SNSを活用したり、静止画だけでなく動画もアップロードしたりするとより一層アピールできる。

意見3 : 問題行動の対応については、その背景にしっかりと目を向け、生徒自身の行動改善に繋げることが大切である。

意見4 : 生徒がスマホ依存に陥らないよう、スマートフォンの校内ルールは現状通りでよいと感じる。

意見5 : オンラインを利用した進路説明会や保護者向け講演会など、情報提供の仕方としては素晴らしいと感じる。

意見6 : 1年生、2年生のキャリア教育を、外部機関を含めて連続させながらより一層充実させるとよい。

意見7 : 担任と進路指導部が太いパイプをもち、個人懇談を通じて個に応じた進路支援を充実させる必要がある。

意見8 : コロナ禍であるが、アンケート結果から生徒会活動が年々活発になってきている様子が伺われ、素晴らしいと感じる。

意見9 : 生徒は部活動に積極的に参加し、いろいろな方面で活躍している様子が分かった。  
今後も継続してもらいたい。

#### 【定時制】

##### (1) スクール・ポリシーについて

意見1 : 「きめ細かな指導の実施」を「きめ細かな指導の推進」とするとよい。

意見2 : 「自らの可能性に挑戦」を「自らの可能性を信じて挑戦」とするとよい。

意見3：「他者と協力して」を「人とつながって」とするとよい。

意見4：「生徒会活動、部活動」の前に「学校行事や」を加えるとよい。

意見5：具体的で大変わかりやすいスクール・ポリシーができたと思う。

⇒ 意見1、意見2、意見3を踏まえてスクール・ポリシーを修正し、学校運営協議会委員の了承を得た。

## (2) 学校生活について

意見1：少人数授業がなされている点が魅力である。単位修得困難な生徒への学習支援の在り方をより一層工夫してほしい。

意見2：日本語プレゼンテーション大会は、発表内容や発表の仕方についても、大変レベルが高く、日ごろの学習成果が現れていた。

意見3：卒業生が後輩に自分の進路を語る取組は大変貴重である。一番のキャリア教育になる。

意見4：進学・就職先未決定の生徒を取り出して要因分析することで、今後の具体的改善方策が明確になるのではないかと。

意見5：外国につながる生徒や不登校経験者にとって必要なモラルやルールの指導について、生徒に分かりやすく取り組んでおり素晴らしい。また、全職員が一体となって、組織的対応を大切にするという点にも共感した。

意見6：部活動が大変活発だと思う。全ての運動系部活動（バスケットボール、サッカー、バドミントン）で全国大会に出場できたり県内第1位になったりしたことは本当に素晴らしい。

意見7：コロナ感染症の影響で、部活動の時間がなかなか確保できないことを残念に思っている先生がたくさんいるということは本当にありがたい。

意見8：特別活動の「来年度に向けての改善方策案」に書かれた「生徒会を中心に、学校行事の企画・運営を任せ、それをバックアップしていく体制の強化を行う。」と「学校全体で取り組める活動をより多く企画するなど連帯感を高められるようにする。」は、教育目標具現のために学校でできることとして、とても意味のあることである。多文化共生社会の実現を果たしている学校として、外部へもその取組を積極的に発信してほしい。

意見9：NHKの放送番組に生徒が取材を受けて出演することについて、学校ホームページを使って広く宣伝するとよい。

## 6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会は書面開催であったが、スクール・ポリシーについて、第2回学校運営協議会の意見が十分考慮されているとして、全委員から承認が得られた。

今後とも生徒がよりよい学校生活を送れるように、来年度も様々な機会をとらえて学校に対する意見を広く求め学校運営協議会を充実させたい。